

ペルー・アンデス ~Peru Andes~

南アメリカ大陸に脈々と連なる、世界最長のアンデス山脈。この南北7500*にも及ぶ山脈の中心部に位置するペルー・アンデスには、氷河を抱いた数々の秀峰が連なるとともに、世界遺産マチュピチュやインカ帝国時代の都であったクスコなど、大自然と文化が満喫できる舞台があふれています。ハイキングからトレッキングまで、楽しみ方は様々です。ぜひ皆様もペルー・アンデスの魅力に触れてください!



ブランカ山群

スペイン語で「白い山群」を意味するブランカ山群。雲がたなびき澄み渡る紺碧の空に、純白の秀峰が脈々と連なる景観はまさに圧巻です。



▲タウリラフ直下のウニオン峠を越える

ワイワッシュ山群

ブランカ山群の隣に位置するワイワッシュ山群。ペルー第2の高峰をはじめ、ブランカに劣らない秀峰群が立ち並ぶ姿は訪れる人々を魅了します。



▲カルアコーチャ湖からのワイワッシュ山群

クスコ、マチュピチュ

多くの謎が残る世界遺産のマチュピチュ遺跡をはじめ、当時の首都であったとされるクスコなど、インカ帝国繁栄の軌跡の残る魅力の地域です。



▲謎の空中都市マチュピチュ遺跡



インカトレイル

南北約4000kmともいわれる広大な地域に渡って繁栄したインカ帝国。その時代に隔々まで築かれた道、インカの古道。かつての繁栄に思いをはせながら歩きます。



▲トレイル上に残るインカの遺跡

アウサンガテ

聖なる山と崇められるアウサンガテ。アルティプラノと呼ばれる高原にどっしりと聳える姿は神々しく、まさに聖山と呼ばれるにふさわしい迫力です。



▲アウサンガテ一周トレッキング

ウユニ塩湖

雨季には鏡のような、乾季にはどこまでも白い大地が広がるウユニ塩湖。自然の創り出した驚異の風景は一生のうちに一度は行きたい場所です。



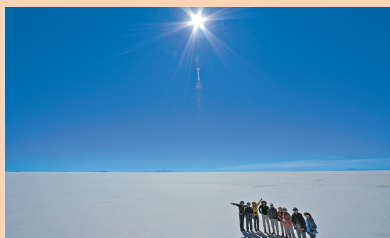
▲白い大地が広がるウユニ塩湖



▲迫力の秀峰フツァン(6,395m)を眼前に望む



▲アルティプラノで草を食むリャマ



▲どこまでも広がる塩の大地、ウユニ塩湖



▲トレイルより望む氷雪のサルカンタイ